



国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 広報誌

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.22-04 2022 Autumn

「紅葉」撮影：林 勝彦 氏

INDEX

- 2 ● ごあいさつ 副院長 井原 司
- 3 ● 医療を支える人
● 佐世保共済病院を知っていただくために
- 4 ● 診療活動の現況 —整形外科—
- 6 ● 新しい医療機器のご紹介
● シリーズ「災害から命を守るために」火災編
- 7 ● 医療連携室より
● 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表

佐世保共済病院の理念

博愛の精神 人の和 自己研鑽

基本方針

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え信頼してもらえる医療を目指します。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し安全な診療を目指します。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合える心をもって診療に努めます。

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号 TEL0956-22-5136(代)

紹介受付専用FAX(医療連携室) 0120-12-2067 HP <https://sb.kkr.or.jp/>

急患室直通FAX 0956-22-6052 (代)FAX0956-25-0662 ※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

副院長 ^{い はら}井原 ^{つかさ}司



患者さんで少し耳が遠いかたがおられる。コロナ以前は検査の時、私の目や口元を見ながら説明に理解されるとにっこり笑われ家族と一緒に帰られていた。最近はマスクやアイシールド越しに、私の目や表情をしっかりと見ながら聴かれているが、なかなか私の話す内容が伝わっていない。大きな声で、時には紙に書いて説明し、どうにかうなずかれ不安そうに帰っていかれる。マスクのため声もこもりがちなせいもあるが、口元が見えず、こちらの表情が読みとりづらいせいもあるだろう。

コロナ禍で医療者はマスク、アイシールド、場合によっては防護服を着て患者さんや家族の診療や説明などを行っている。私たちの表情がなかなか読み取れないうえに、多忙な時は厳しい表情なので、なかなか話しかけにくいような雰囲気を感じているかもしれない。

患者さん、家族は、ちゃんと思ったことを私たちに伝えることができているのだろうか、またこちらはそれに対してきちんと返答できているのだろうかと心配になる。

このような状況下では、お互いに情報を伝えるためいつも以上に円滑なコミュニケーションをとるための努力が必要になる。相手の目、表情を見てゆっくりはっきり話す。相手の言うことを傾聴する姿勢を見せ、伝わっているかを確認する。しぐさも大切である。何よりも相手への配慮、思いやりが最も大切だと考える。

私は、仕事が終わると、病院より四ヶ町アーケードを通り佐世保駅、港ターミナルを回るコースでウォーキングをしている。コロナが流

行る前は、行き交う人々の顔が笑っていたり、疲れていたたり、時には今から皆で飲み会という楽しげなグループなど、様々な表情に溢れていた。

しかし今は無口で携帯を見ながら足早に歩く人、疲れた顔で店じまいをしている人など、マスクのせいもあるのか、表情が乏しく、以前の活気や明るさを感じられないような気がする。仕事をしていてもスタッフに患者さんの指示を出すときや、急な処置をお願いするときは、コロナ禍の忙しいさなかは目や表情に厳しさも感じられ、マスクの下の表情を推察しながらコミュニケーションをとった。

新型コロナウイルスの拡大後そろそろ3年になる。日本内ではマスクをする習慣が定着した。そしてこの間私たちの生活においても直接会って話すという、大切なコミュニケーションが減り、人とのつながりが疎遠になってきたような気がする。

今後社会は With コロナという考えで人流の動きが活発になってくるが、医療施設はその状況下でも、コロナウイルスの病院内侵入を抑え、院内感染を防止する体制が持続する。

医療関係者においては
いわば相反する状況に
困惑さえ感じる。コ



ロナウイルスの終息とマスクなしの日常が早く訪れる日を願う。

WOC(ウオック)ナースと呼ばれています

皮膚・排泄ケア 認定看護師 福井 美樹

「皮膚・排泄ケア認定看護師」とは、皮膚のケアや排泄ケアに特化した看護師のことです。創傷(wound)・オストミー(ostomy)・失禁(continence)の英語の頭文字をとって「WOCナース」と呼ばれることも多いです。

現在、私は褥瘡管理者として院内の褥瘡対策、ストーマケアや排泄ケアを行っています。皮膚のトラブルや排泄の問題は、患者さんにとって深刻で、生活の質に直結する問題です。そして、人に知られたくない、見られたくない部分のケアとなります。そのため、私は、患者さんにご家族の思いや価値観、背景をくみ取ることを大切にしています。ストーマ外来で

は、患者さんは「こういう事を話せる人がいないからここに来ると安心する。」と言われます。話をきいて力になれる、そのような存在でありたいと思っています。今後は、この地域で看護や介護に携わっている方々と連携を強くして看護が継続できたらと思います。

スキンケアや排泄ケアについてのご相談は、「褥瘡管理室」までお気軽にお声をかけてください。



佐世保共済病院を知っていただくために

リーフレットができました

医療連携室 課長 寺田 まさてる 正輝

かかりつけの病院や医院から、佐世保共済病院のご紹介を受けた時、どこにある病院？ 道順や行き方は？ 病院の中に何があるの？など、初めての受診は心配になられる患者さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、当院を紹介するリーフレットを作成いたしました。

施設(建物)の地図や、初めて受診される方の受付手続き方法、アクセス方法など、概要が一目でお伝えできるものになっております。

近隣の病院や医院・クリニックなど、以前当院にご紹介いただいたことがある医療機関等に、随時お配りしております。共済病院にご紹介いただける患者さんへのご案内等に、ぜひご活用ください。



整形外科の腫瘍（骨軟部腫瘍）

— 整形外科 —

整形外科 医長 うえだ こうき
上田 幸輝



● はじめに

整形外科の上田と申します。2015年4月に当院に赴任し、今年で8年目となりました。当初は膝・肩・外傷を担当しておりましたが、2017年より腫瘍も担当させて頂いております。限られた誌面ですが、整形外科で扱う腫瘍について簡単にご説明したいと思います。

● 骨腫瘍と軟部腫瘍

骨の中にできたり、骨から外に膨らんでできるのが**骨腫瘍**です。骨と皮膚の間の、筋肉や血管、神経などにできるのが**軟部腫瘍**です。骨腫瘍は20種類以上、軟部腫瘍は40種類以上あると言われています。

全国的な骨軟部腫瘍の登録制度があり、骨腫瘍は良性・悪性あわせて1年間に約1,400例、軟部腫瘍は約4,700例登録されています。がんを発症される患者さんが年に約100万人いらっしゃることを考えると、骨軟部腫瘍の発生数がいかに少ないかが分かります。（ちなみに、悪性骨腫瘍の中でも有名な骨肉腫は、年間約200例の登録があり、日本の人口およそ60万人に1人の発症という計算になります。）

骨腫瘍でよく診るものとして、お子さんにできる**良性のもの（外骨腫、遠位大腿骨骨皮質不**

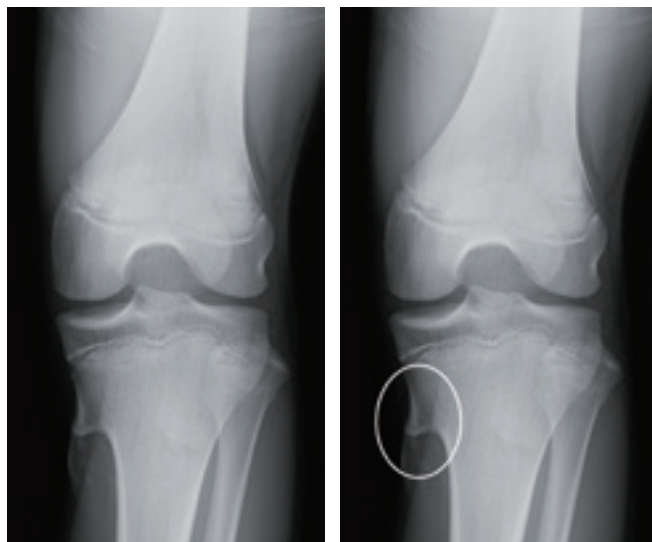


図1 外骨腫

成長軟骨が正常と異なる場所で発育するもの。成長が終わるとこれも拡大が止まります。痛みを伴うものは切除します。

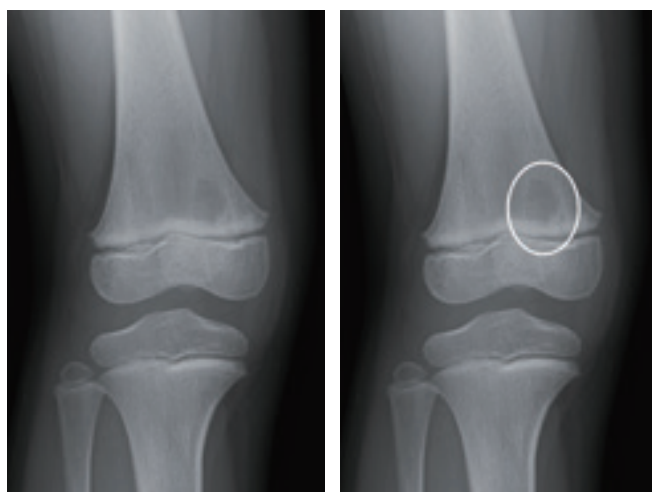


図2 遠位大腿骨骨皮質不整像

小児の膝で高頻度に見られる良性のもの。多くは成長するにつれ、自然に消えます。



図3 単純性骨嚢腫

成長軟骨に近く、成長障害を生じる可能性があるものは手術します。成長と共に成長軟骨から離れていき、手術の必要性が減ります。

整像、単純性骨嚢腫など（図1～3）と、中年～高齢の方の転移性骨腫瘍（図4）があります。レントゲン、CT、MRIなどで診断します。前者は良性の可能性が高ければ、サイズが大きくならないか、良性に見えて実は悪性ではないか、1年に数回のレントゲンによるチェックを行います。痛みが生じたり、病的骨折を起こす可能性があるものは、夏休みなどを利用して手術を行います。後者は、がんの骨転移のことで、どこのがんから転移したかを診断した上で、がんを治療するメインの科と一緒に治療を行って

いきます。

軟部腫瘍は、脂肪腫、血管腫、神経鞘腫、ガングリオン、粉瘤などといった良性のものが多数を占め、腫瘍ではない血腫（たんこぶ）などのこともあります。レントゲンでは映らないことが多く、エコーやMRIなどで診断します。腫瘍が機能に影響を及ぼさず、ご本人に手術の希望がなければ、年に数回のエコーによるサイズチェックで様子を見ることが多いです。軟部腫瘍における悪性腫瘍の割合は相当低いですが、悪性腫瘍が見つかった場合は手術が必要となります。

●最後に

整形外科には体の一部が痛い、腫れるなどで受診することが多いと思いますが、その中で原因が腫瘍である頻度は決して高くありません。ですが、痛みが長引く場合や、原因がはっきりしない場合は、「腫瘍の可能性はないかな？」と考え、レントゲンやMRIを撮るなどして、主治医の先生に確かめて頂くのも良いかもしれません。

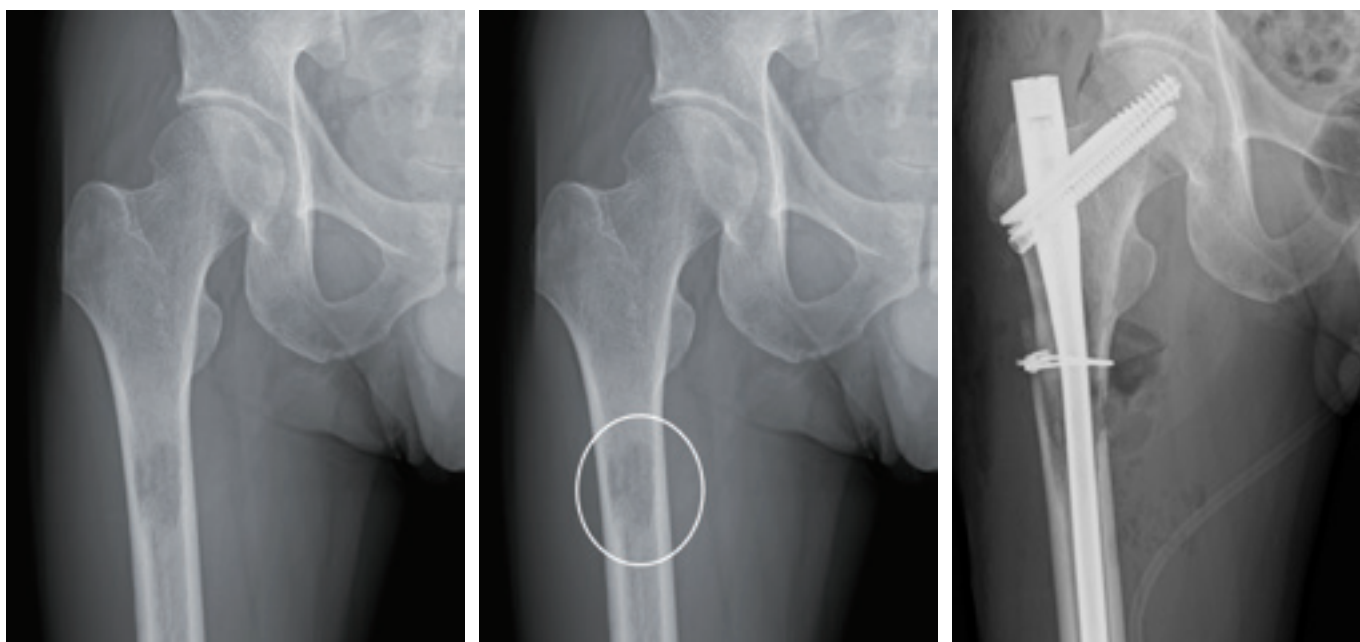


図4 転移性骨腫瘍 高齢男性の肝臓がんに伴うもの。病的骨折を生じ、骨接合手術を行いました。

医療用体組成計が導入されました

リハビリテーション科 技士長 おおつ やすゆき 大津 救亨

このたび、医療用体組成計「mBCA」¹⁾が導入されました。体組成とは、筋肉や脂肪、骨など私たちの体を構成する組織のことをいい、体組成計はそれらを量的に測定できる機器です。実際の運用は、透析室での体水分測定やリハビリ室での筋肉量等の評価が中

心となりますが、筋肉と脂肪の割合などが測定できることから栄養評価の指標としても活用していきたいと考えております。

また、加齢などによる筋肉量の減少を“サルコペニア”と呼びますが、その指標となるのは「筋力」「身体機能」「筋肉量」です²⁾。な

かでも、筋肉量は骨格筋量指数(四肢の骨格筋量を身長(m)の二乗で割った値)で表わすことが可能であり、これが測定できる機器が体組成計です。体を傷つけることなく、体内の評価を行えることは画期的であり、今後の診療に貢献できると期待しております。



1) seca mBCA 525 (seca.com より引用)

サルコペニア診断基準 (AWGS2019より)

握力低下：男性28kg未満、女性18kg未満
歩行速度低下：1.0m/秒未満

DXAによる骨格筋量指数 (SMI) 測定

男性7.0kg/m²以上
女性5.4kg/m²以上

サルコペニアなし

男性7.0kg/m²未満
女性5.4kg/m²未満

サルコペニア

2) サルコペニアの診断基準 (https://mie-locomo.com/ より引用)

シリーズ「災害から命を守るために」火災編

「火災は人災」と言われています

救急・防災専門役 むらおか しょうじ 村岡 昭治

毎年、全国で約 35,000 件の火災が発生し、1,500 名の人が亡くなられています。なぜ火災は減少しないのでしょうか。火災の出火原因はタバコ、ガスコンロ、たき火、電気機器(配線)、放火(疑いを含む)が常に上位を占め、経緯も慣れによる緩慢な火の取扱い、機器の取扱い不慣れによるものが大半です。例えば、タバコ。消えたと思ってゴミ箱に捨て火種が再燃して火災になっています。火種を水に浸してから処理すれば

火災にはなりません。ガスコンロの場合はコンロ付近の可燃物に着火、又は天ぷら油の火災がほとんどです。コンロ付近を整理整頓し、火を使っている時はその場を離れなければ火災は未然に防止できます。「火災は人災」と言われてい

ます。基本的な火災予防の知識を身につけることで、火災発生は防ぐことができます。



村上きんしろう循環器内科

院長 村上 謹士郎 先生

〒857-0052 長崎県佐世保市松浦町2-21 九十九島ビル3階
TEL 0956-56-7060



平素より救急の患者様を始め、必要に応じ各専門領域の先生方と連携できる環境もあり大変お世話になっております。早いもので当院が開業し13年目を迎えました。当院では内科一般から循環器疾患、特に生活

習慣病やその合併症（動脈硬化による血管障害など）の予防、早期発見、再発予防に力を入れております。当院の特徴としましては①外来で心臓リハビリテーション（心筋梗塞、狭心症、心不全、閉塞性動脈硬化症の患者さんの予後の改善や再発予防）ができること。②生活習慣病の患者さんに対し、週1～2回で簡単なエアロビクスやヨガの教室を行い（保険診療内）栄養や運動の指導のできる環境がある事等です。

コロナ禍で医療環境の厳しい中、共済病院の職員の皆様のご尽力には

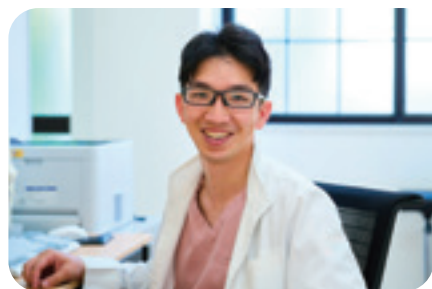
誠に感謝申し上げます。当院でもO Bとしてお手伝い出来る事があればと常々思っております。これからも、微力ではございますが地元の方々のお役に立てるよう精進致しますので、今後共宜しくお願い申し上げます。



大島ながたクリニック

院長 永田 純一 先生

〒857-2427 長崎県西海市大島町1895番地3
TEL 0959-23-0777



令和4年6月に西海大島に整形外科、リウマチ科診療を中心に、内科疾患や急病、在宅医療など、なんでも相談でき安心して通えるクリニックを目指して開院しました。

佐世保共済病院様とは開院当初より連携をさせていただいており、地域に安心できる医療連携を提供するためにとても頼りになる存在です。整形外科疾患の手術相談や術後のリハビリテーションのご紹介、在宅患者さんのご紹介などをいただきできる限りの対応をさせていただいております。スタッフ一同、

患者さんのために真摯に頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	●	●		●	●	●	
14:30～18:00	●	●		●	●	●	
休診日	日・祝・水曜						
診療科目	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科						

※受付は診療時間終了時刻の30分前まで



編集後記

3年ぶりに九州最大のよさこいイベント「YOSAKOI させば祭り」が開催されました。活気溢れる佐世保の街が戻り、踊り子の皆さんも応援する沿道の方々も笑顔で溢れていました。まだまだ感染予防対策は必要な毎日ですが、少しずつ日常を取り戻しているように感じる今日この頃です。 編集委員 大川内 茜

外来診療担当表

2022年10月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部 長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医 長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医 員	橋本 優香					●				●		腎臓疾患
	〃	井本 航	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部 長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医 員	片伯部 幸子					●						循環器疾患
	〃	前田 高暢	●						●				循環器疾患
	非常勤	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	伊藤 章吾									●		循環器疾患
	〃	赤垣 大樹	●		●								循環器疾患
腫瘍内科	院 長	三ツ木 健二	◆		◆		●		●		◆		1. 消化器がん 2. 乳がん 3. 原発不明癌 4. 肉腫 その他
	医 員	吉弘 知恭	●		●				■				◆：新患のみ
消化器内科	部 長	河野 健次			※				●				肝臓疾患、糖尿病 ※第2・4週
	非常勤	藤松 雅彦							■				消化器内科
	〃	白 暁鵬				●							消化器内科 毎週火曜日
呼吸器内科	非常勤	秦 兼太郎					●						呼吸器疾患
	〃	安藤 裕之	●										呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤	安西 慶三			●								毎週火曜日 診療時間 9時～12時
総合内科	医 長	梶原 寿浩									●		予約のみ
	非常勤	太田 一寿	●										毎週月曜日
	〃	才田 正義					●						毎週水曜日 診療時間 9：00～12：30
外 科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	乳腺外科部長	原田 洋			●								乳腺外科・一般外科
	消化器外科部長	富崎 真一	●	●		●							消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	肝胆膵外科部長	丸山 祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医 員	藤崎 正寛			●						●		消化器外科・一般外科
	〃	名嘉眞 智樹					●		●				一般外科
	非常勤	川畑 方博					※						肝胆膵外科・消化器外科・一般外科 ※第1・3・5週
	乳腺外来		■ 藤崎		■ 名嘉眞		■ 原田				■ 原田		※乳腺検診は、10時までに受付を行って下さい（要予約）
	〃	〃											
整形外科	部 長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科（肩肘手）、足部外科、スポーツ障害
	医 長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科（肩肘手）、スポーツ障害
	〃	上田 幸輝	●				●				●		膝・肩関節疾患、腫瘍
	〃	伊東 孝浩	●				●		●				膝・股関節疾患
	〃	千住 隆博	●		●				●				股関節疾患、上肢の外科（肩肘手）
	医 員	亀山 みどり			●				●				整形外科一般
	〃	山本 雅俊	●								●		整形外科一般
産婦人科	〃	伊藤 輝					●						整形外科一般
	部 長	鶴地 伸宏	●				●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	周産期部長	木下 秀一郎			●				▲		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	医 員	東島 弘明			▲		●		●		●		●：婦人科診察日 ▲：産科診察日
	〃	井町 佑三	●		●		▲				●		
	〃	中島 奈津実	●				●					▲	
泌尿器科	〃	眞鍋 有紀子	▲		●				●				
	部 長	中村 貴生	▲		■		■		■				泌尿器疾患 ▲：月1回奇数週（第1又は第3週）
	医 長	丸田 大	▲		■				■		■		▲：第2.第4週
耳鼻咽喉科	医 員	福島 始	■				■				■		
	医 長	安倍 大輔	■		■		■		■		■		鼻科・耳科疾患、聴覚疾患、耳鼻咽喉科一般
眼 科	医 員	本多 勇輔	■		■		■		■		■		
	医 員	伊崎 亮介	■		■	※	■	※	■		■	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来（要連絡）													
麻 酔 科	診療部長	深野 拓			■		■		■		■		月～金午前：ペイン・緩和ケア・術前外来
	医 長	松永 祥志	■		■		■		■		■		月～金午後：手術麻酔
	〃	木本 文子	■		■		■		■		■		
	非常勤	別府 幸岐	■		■						■		
バインクリニック	部 長	境 徹也			■		■		■		■		月～金午後は手術麻酔 受診等の問合せは、直接外来までお電話下さい。
小 児 科	部 長	上玉利 彰	●		●		■		●				小児血液、小児がん、小児一般
	アレルギーセンター長	合田 裕治	■		■		■		■	■	■		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息
	医 長	金城 勤也	●		●		●		●		●		小児一般
	顧問	岡 尚記	■				■	■		■	■		小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般
	乳 児 健 診					●							火曜 13時から診察開始 13時までに受付を行って下さい
	慢 性 外 来							●					水曜 14時から診察開始
歯科口腔外科	喘 息 外 来									●			木曜 14時から診察開始
	部 長	窪田 泰孝	●	■	●	■	●	■	●	■	●	■	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
放射線科	医 員	今利 一寿	●	■	●	■	●	■	●	■	●	■	菌性感染症など
	部 長	野々下 政昭	※検査・画像診断についての申し込み・問合せは、										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
健診センター	医 員	小路 優輝	外来までお電話下さい。										
	健診センター長	佐藤 浩信	※申し込み・問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155										
健診センター	医 員	原 敬一											
	〃	〃											

●：診療日 ■：予約のみ ◆：新患のみ